

チャイムのない学校

--五日市南中学校区内--



第49号平成23年8月25日
 広島市立五日市南中学校
 〒731-5135 佐伯区海老園4-2-21
 TEL082-923-5601 FAX082-923-9828

校長室だより

『大丈夫です!』『技術は、自分より上でした。精神的に粘れて、結果的に相手に勝つことができた。』

~今しかできないこと

本気でぶつかる大切さ学ぶ、7月31日(日)中国新聞掲載~

8月25日学校朝会では、夏期休業中7月31日(日)バトミントン女子団体戦予選リーグを軸に、思い浮かべたことを話しました。

『おはようございます。夏休みに入って、部活動の大会をいくつか見る機会が得られました。春ほど

は、見るができなかったのがとても残念でした。少なくとも、春の大会見られなかった部活動の大会はぜひ、みたいと思っていました。

だから7月31日(日)は、春見るができなかったバトミントン女子の大会をほんの少しだけ見る事ができたのがうれしかったです。試合は苦戦していましたが、聞いてみると『大丈夫です!』と力強く

言っていました。結果としては、負けてしまいましたが、ダブルスから最後シングルのラスト1本まで、一生懸命応援をしていました。この姿を見ていると、3年の意志を継いで次の試合の時には、復活をしたと思います。新しい部活動の伝統も少しずつ創り上げていこうとしている良さを感じ、とても楽しみになりました。

この大会の帰り道、思い出したことがあります。以前、たまたま見る機会を得た硬式テニス市選手権大会決勝の時、もつれた試合となり最終的に負けました。途中、途中思うように心と体が動かず苦しんでいる様子がわかりました。相手に対して精神的に勝つことは、とても難しいことだと思いました。今年カープの前田投手も、精神的な心の持続の難しさに苦しんでいます。バトミントン女子シングルスも同じように苦しんでいました。他の部活動や活動でも同じような場面を多く見ました。今回その硬式テニスの生徒が、中国大会個人で優勝し、全国大会へ出場できるという報告がありました。その生徒に次のような話を聞いてみました。『中国大会は、どうでし

あさのあつこ著
 (教育画劇)



バッテリー

大熊誠司
加藤聡
喜多村祥己
酒井宗一郎
倉内亨
植尾淳之介
永井克弥
長瀬敦子
山本涼香
田中まりな
金子結里奈
三宅優子
細末桃子
畑田七海
山本 颯

<スイミングサポートボランティア>



土江啓太
長岡啓太
石河内拓也
林陸太郎
元川 颯太
島谷 隼生
田窪 秀
日倉 賢樹
高見 友樹
世 藤 奈央
高比良 理瑠
山藤 菜央
高瀬 有希
日井 瑞希
高瀬 安希

たか。』

『岡山勢が強く、全国大会出場枠は7名でしたが、その内6名が岡山勢でした。』

そして、次のような質問をしました。

『その岡山勢はどうでしたか。』

すると、

『岡山勢の技術は、自分より上でした。

今回、精神的に粘れて、結果的に

相手に勝つことができました。』

精神的に粘ることは、大きな大会や、

自分にとってシビアな場面において

とても難しいことです。

今回、精神的に粘れたことは、

とても素晴らしいことだなと話したことを

思い出しました。

小学校サマースタディサポートボランティア

名前	担当クラス
浜田 万侑	1年1組
福田 有紗	

名前	担当クラス
西村 可絵	2年2組
横野 史絵	
山本 美暹	
北林 未来	
辻 楓	

名前	担当クラス
森 有希	1年2組
奥野 美優	

名前	担当クラス
大田 優架	1年3組
土江 悠太	

名前	担当クラス
北橋 歩実	2年3組
田中 葉央	
南 咲貴子	
細田 恭平	

名前	担当クラス
古川 勝也	2年1組
石田ひなの	
高山 藍梨	
中尾 美結	
野田 愛理	

名前	担当クラス
小野 綾音	2年4組
腹井 瑞希	
奥 理森	
後藤 咲良	



帰り道の途中、別のもう一つのこと
思い出しました。その日の朝、中国新聞
の朝刊で読んだ本校の生徒の見出しです。

『今しかできないこと

本気でぶつかる大切さ学ぶ』

～バッテリー あさのあつこ著～

「野球」という接点を持つ少年「巧」と
「豪」。二人にはそれぞれ極めようとする
野球がある。しかし、それはどうしたつ
て一人ではできない。仲間に出会い、困
難に立ち向かい、分かち合うから極めら
れる。そして二人は互いに、今しかでき
ない多くのことに向き合っていく。プラ
イドの高い天才ピッチャー巧、優しくて
親近感のあるキャッチャー豪。二人の目
指す野球は、同じではなかった。だが、
互いに目指す野球を近づけたいとの思い
もあり、二人には重なり合う思いもあっ
た。それは、常に本気でやる、というこ
とだ。

人には本気になれること、今しかできな
いことがある。それを支え、ともに歩ん
でくれる人がいる。それは自分にとって
大きな支えとなり、一生の宝物になると
この本は言っている。.....

<小学校1年生担当>

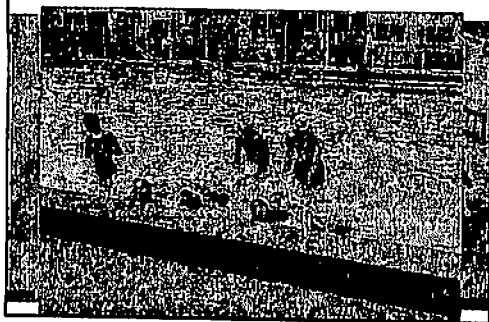
<小学校3年生担当>

近藤 七海
反木 美希
安井 佐織
蔵本 希藤
澤原 未来
島田 彩加
下川 さやか
別所 菜緒
伊瀬 春輝
和智 大輝
平田 蓮
大下 美沙
村上 絢美
碓部 昌克
北木 翔平
大島 瑚土乃
栗崎 春穂

田上 由依
岩崎 夢美
西奥 朱里
波田 彩音
本多 凜子
持田 七海
高山 久美
羽藤 円香
山根 悠衣
山本 咲穂
河井 優希
高山 奈美



サマースクールスタディボランティア



『バッテリー』の著者あさのあつこさんには、5年前五日市南中学校生
徒のみなさんへ、色紙「あのミットへ」をいただきました。校長室に飾っ
てありますから、心疲れたときは見に来てください。

さて今日から、勉強に掃除に挨拶に一生懸命取り組んでください。そし
て、日常の生きることからしっかりと学べる学生になってください。以上。